

ごあいさつ

市民の皆様におかれましては、平素より湖誠会に對しまして温かいご指導ご鞭撻を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、一段と厳しい行財政環境の中、平成24年度予算が新市長のもとで骨格予算として2月定例会に提案されました。湖誠会としては、常に「市民福祉の向上と、活力ある大津の創造」を念頭におき、新年度予算を慎重に審査したところであります。

基本的には目片前市長時代に計画した諸事業が継続されることとなりますが、ガス事業民営化の是非、ゴミ処理施設整備計画や合併建設計画の推進など、将来の大津の根幹に関わる重要課題については、これから越市長と徹底的に議論を交わし、是々非々の姿勢のなかで市民本位の市政を追求していく覚悟であります。

34万市民が大津に住んで良かったと実感できる街づくりのために、今後とも会派議員が一致結束し全力で取り組んでまいりますので、皆様方には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

幹事長 竹内 照夫



市議会2月定例会

会派代表質問

湖誠会 竹内照夫幹事長

質問項目

- 平成24年度予算編成について
- 市長マニフェストについて
- 「支所の統廃合」の考えについて
- 「大津市・志賀町合併建設計画」の位置づけ、課題、進め方について
- ごみ処理施設の整備計画について

するものではないが、改めて外部から意見を伺う必要があると考えている。検討に際し今後、大津市企業局経営懇話会を含め、十分検討する。

Q 市長マニフェストにおいて「大津市・志賀町合併建設計画」は具体的事業に触れていないが、市政運営の中での位置づけや課題と今後の推進について伺う。

A 市政運営における「大津市・志賀町合併建設計画」の位置づけは、合併の際定められた基本方針であり、10年の計画期間内に集中的に取り組まねばならないものと考えている。

課題については、着手段階の道の駅整備や近江舞子周辺地域活性化事業、今後検討が必要なJR蓬萊駅以北のバリアフリー化や駅前広場整備など、地域の合意形成や関係機関の協力が得なければ実現しない課題がある。今後の推進については、地域の意向把握に努めるとともに、関係機関との協議を進め、事業方針や事業計画を策定し推進する。

Q さる1月9日の公開討論会などにおいて、支所の統廃合、支所機能の見直し、支所職員の数が多い等という趣旨の発言があるが、1学区1市民センターは、少子高齢社会が進む中、市民にとって身近な施設であり、地域のまちづくりや防災拠点として不可欠な施設と考える。市民センターが設置されてきた経緯、役割等をふまえ、支所の統廃合についての考えを伺う。

A 南北に長い市域を一定のブロックに分割し機能を充実した基幹的な支所を設置して、業務を住まいの近くで済ませられないかとの思いがある。市民センターについては、これまでの地域の歴史的経過も重要であると考えている。加えて高齢化社会が一層進展する中、市民の利便性の確保や、災害対応拠点、まちづくりの拠点として、市民センターの持つ役割や機能は重要であり、「支所の統廃合」については、現在のところ考えていない。

A 「大津市ガス事業のあり方」内検討委員会が出した「公営で継続することが望ましい」との報告を受け、公営で継続することが望ましいとする6つの理由については理解している。しかし最終報告が市役所内部で検討されたことから、民営化を前提と

Q 昨年1月に「大津市ガス事業のあり方」内検討委員会が設置され「市民にとってどうするのが最も良いか」という視点で、1年間6回にわたって議論され、「本市ガス事業は、公営で継続することが望ましい」との報告が出されている。市長のマニフェストに「公営企業のあり方について民営化も含め検討」と掲げられており、当事業については、慎重な判断が求められると考えるが、どのような考えをお持ちか伺う。

A 予算編成の柱として、①「福祉・子育て・健康」②「教育環境の充実」③「都市基盤整備」の3分野に重点配分し、次期補正予算は子育て支援にかかる経費、小中学校の大規模改造事業費、地域防災計画等の安心・安全なまちづくりの経費、バリアフリー化検討経費等を中心に政策予算を考えている。

Q 市長就任1ヶ月あまり、大震災や原子力災害への備え、円高、少子高齢化など、財政難の時代に多くの課題を抱える中、市民生活の後退を招かないとする平成24年度予算編成の基本方針とマニフェストに掲げる政策実現を図る次期補正予算について伺う。



平成24年度予算が決まりました

平成24年度予算 (対前年度比)

一般会計 (△1.2%)

1,024億1,300万円

特別会計(9会計) (3.0%)

556億6,120万円

企業会計(5会計) (3.6%)

672億5,884万円

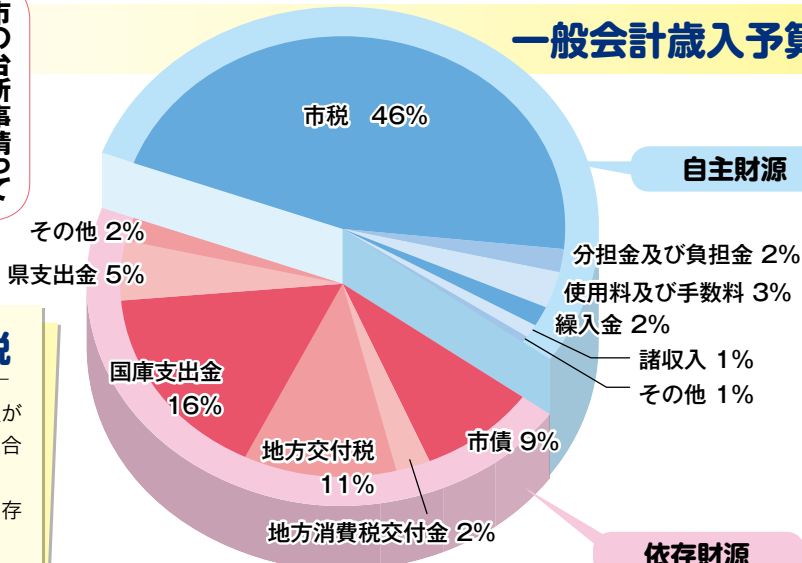
●平成24年度の予算案が2月市議会定例会で可決されました。
円高の影響による企業業績の低迷と雇用不安による所得の伸び悩み等により、市税収入が前年度より減収となる見込みの中、また、新市長就任による骨格予算となった中ではありますが、湖誠会が政策要望で求めた待機児童解消に向けた保育園の整備、耐震改修を含めた学校教育施設の整備、膳所駅周辺や大津駅西地区等の都市基盤整備などの政策の実現が図れました。

●大津市の財政は33年間、黒字決算を続けています。

●実質赤字比率など4つの指標で構成される健全化判断比率も問題の無い数値であり、健全財政を維持しています。

●今後も、行財政改革を着実に実施し、健全財政の堅持を図ります。

一般会計歳入予算額



自主財源

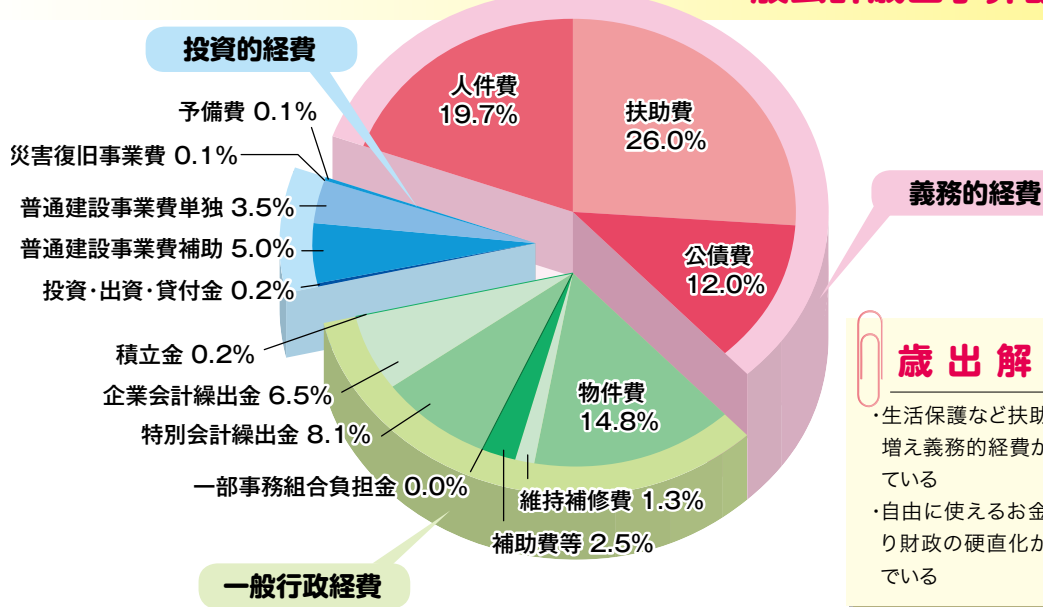
依存財源

市の台所事情って
どうなの？

歳入解説

- ・不景気の影響で税収が減少し自主財源の割合が低下している
- ・交付金や補助金に依存している

一般会計歳出予算額

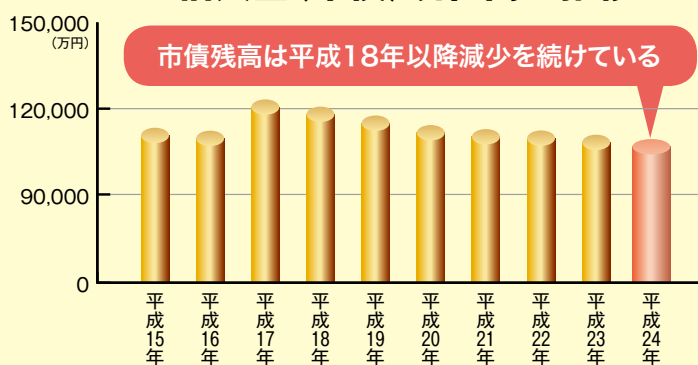


義務的経費

歳出解説

- ・生活保護など扶助費が増え義務的経費が増えている
- ・自由に使えるお金が減り財政の硬直化が進んでいる

借入金(市債)現在高の推移



市債残高は平成18年以降減少を続けている

平成24年度末市債残高見込額
総額 106,758,759,000円
市民一人当たり 313,572円

大津市の「借金」って
どれくらいあるのかな？



市民一人当たりの予算額300,808円は
こんなふうに使われます

民生費
40.1%

高齢者、障害者、児童の福祉推進などに

120,670円

土木費
14.3%

道路、公園、公営住宅の整備推進などに

42,893円

公債費
12.0%

借りたお金の返済に

36,055円

衛生費
10.7%

ごみ、し尿の処理や健康管理などに

32,069円

総務費
8.8%

企画、自治振興、防災対策などに

26,578円

教育費
8.6%

学校の管理運営や整備などに

25,762円

消防費
2.9%

消防や救急業務などに

8,869円

その他
2.6%

産業・観光の振興などに

7,912円

※金額は一般会計の歳出額を平成24年2月末日現在の人口340,460人で割り戻した額
※表中の%は歳出全体に占める割合

これからも市の財政に
注目するワ！



主な事業内容

厳しい財政状況ではありますが、市民サービスの向上のために提案した政策要望が平成24年度予算に盛り込まれました。今後も、さらなる行財政改革の徹底と市民サービスの向上を求めていきます。

子育て

民間保育所施設整備補助金 1億7,406万円

児童クラブ施設整備 5,390万円

家庭児童相談室運営 2,889万円

不妊治療費助成 5,545万円

妊婦健診 2億8,826万円

まちの活性化

来て見てディスプレイ大津 300万円

道の駅整備 501万円

企業立地活性化 1億580万円

南部クリーンセンター整備 2億5,519万円

リユースセンター整備 2,121万円

都市基盤整備

膳所駅周辺整備 2億8,174万円

大津駅西地区土地区画整理 14億2,730万円

教育環境の充実

中学校屋敷調査 175万円

小学校大規模改修、耐震改修等 6億1,235万円

中学校大規模改修、耐震改修等 2億3,785万円

幼稚園大規模改修、耐震改修等 9,322万円



文化庁視察・文化財行政について

持主が個人の場合は県、市と相談をし申請があれば国が補助を行います。

【趣旨・目的】

我が国の「たから」である地域の多様で豊かな文化遺産を活用し、伝統行事・伝統芸能の公開や後継者養成、重要文化財建造物等の公開活用や史跡等の復元・公開など、地域の特色ある総合的な取組を支援し、文化振興とともに観光振興・地域経済の活性化を推進することを目的とし、都道府県・市町村が地域の多様で豊かな文化遺産を活用し、文化振興とともに観光振興・地域経済の活性化を推進する地域の特徴ある総合的な取組を計画し、この計画に基づいて実施する取組みに、文化庁が補助金を交付します。

来年度の文化財保護の予算は457億円です。

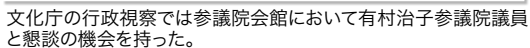


文化庁行政視察



大津市は、琵琶湖と美しい山々に囲まれ風光の地であり、その恵

また大津市は市レベルでの国指定文化財指定件数は全国3位であり、遺跡分布図で385カ所と日本でも有数の遺跡が存在しています。



にとって大きな課題となっています。

大津市の玄関である大津駅前のもとより、中心市街地が活性化事業として現在取り組んでいる最中であります。

平成23年度に大津市も文化庁に対して「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業実施計画書」を浜大津周辺部の活性化に向け申請しています。

市を挙げて地域の「たから」である自然や文化遺産を守りながら、これらを活かした観光振興、地域活性化に向け議論し取り組む必要があると考えます。

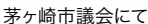
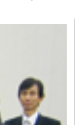
茅ヶ崎市の議会報告会の
実施状況について

報告会の内容や開催について有意義であったとの評価内容でした。

本市議会では、議会活性化委員会において「議会報告会の実施要項案」を基に、実施に向けて検討を

重ねられており、三島市の議会報告会を視察しています。

また、昨年当会派では、近江八幡市の議会報告会を視察して
おりますが、市民に開かれ、分かりやすく、信頼される議会を
構築することを目的とした議会報告会のあり方については、
市政報告会ではなく議会の内容について報告を行い、市民への
アピールや議会の存在感を示すことが求められており、開催
することにより広く市民に関心をもたれ、市民にとって議会
が身近なものにしていく必要があると考えて
います。



2月定例会一般質問

待機児童の解消に向け、新たな民間保育所の整備が優先されるべきと考えるが、今後の整備計画は。

A 次世代育成支援後期行動計画で、待機児童解消を掲げ、保育所の整備などで、過去5年間、約1,000名の定員増を図ってきたが、その解消には至っていない。

桐田 真人議員

生徒とその保護者から早期実施が強く求められているにもかかわらず、中学校のエアコン導入について平成24年度当初予算計上を見送った判断とは。

全18中学校のうち、ガス未供給区域の2校は電気で、残

る16校はガスヒーポン方式で、それぞ
れ空調設備設計費が新規事業として
挙げたが、予算編成では、新規事業
や政策的判断を要する事業は慎重に
判断すべきと考え、これを先送りし
た。エアコン導入は、ガス事業の民営
化の議論も踏まえ、整備手法や財源、
設置後のランニングコストも含め、実
施時期を検討していく。

武田 平吾議員

豊島の汚染土壌搬入の反対運動に対する市長の政治判断について、及びこの件を契機として、大津市として環境に影響をおよぼすお

それのある施設の許認可に対し、歯止めをかけるための条例の制定を検討するべきと考えるがどうかについて伺う。

A 豊島の汚染土壌搬入問題

については、香川県に対して施設周辺住民の理解が得られていない現状において搬入をしないよう求めるとともに、香川県の実施方針に則つての適切な事前協議を要請した。

津田 新三議員

放課後での外国語教室の位置づけと構想について、そして、すべての学習を理解する上で基礎となる国語の学習がもっとも重要と考えるが見解を伺う。

A 学校のカリキュラムに位置づけたものではなく、希望者を対象としたものを考えておりますので、生涯学習の位置づけになると思います。

たネイティブス。

学校施設を活用し「聞く・話す」を中心としたネイティブスピーカーによる指導を考えている。具体的なことについては、今後、保護者や子どもとの意見を伺うなどして教育委員会で検討していただきたいと考えている。

そして、外国語教育の充実とともに、国語教育の充実も必要であると考えている。

中野 治郎議員

坂本観光の玄関口、坂本のメー
ンストリートである都市計画道路
比叡辻日吉線の整備方針は。

この道路は、坂本地区のシンボル軸で日吉大社参道とし

て、また幹線道路としての機能を併せ持つ都市計画道路である。

道路整備については、地域において、道路拡幅に向けての機運が高まっていることを受け、まず地域の考えを聞き、観光振興を図る上での事業効果、地域幹線道路としての必要性や財源の確保の3つの観点に照らしながら早期に取り組み方針をまとめていきたい。

老朽化した志賀小学校の整備の、二十四年度以降の具体的な取り組みについて、再度本市としての実行計画を伺う。

A 校舎の大規模改修については、トイレ改修とエレベーター設置の実施設計にとりかかり、防水改修、給排水管や建具・電気設備の更新などについても、早期に対応する。また、体育館については、改築を視野に入れた配置検討を行い、運動場拡張と合わせ、整備に必要な用地確保についても検討していく。

中心市街地における商店街振興の支援策について伺う。

A 本市の商店街を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあることは、充分認識しているが、まずは消費者に商店街へ足を運んでいただき、個店の売り上げ増加とそれによる利益の増加が不可欠である。

現在、商店街が元気に、賑わいを取り戻すため、ソフト面や、ハード面への支援にも取り組んでいるところであるが、今後とも、商店街が地域コミュニティの場であることも意識し、商店街の皆様とも充分議論しながら、支援策を講じていきたい。

大津の 元気 安心 安全 を見守る湖誠会ネットワーク

北村 正二

- 議長
- 教育厚生常任委員会委員

1 〒520-0528
大津市和邇高城
270番地の28



津田 新三

副幹事長

- 議会運営委員会委員
- 生活産業常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員

2 〒520-0242
大津市本堅田五丁目
9番15号



武田 平吾

政調会長

- 施設常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員

3 〒520-0247
大津市仰木二丁目
23番14号



中野 治郎

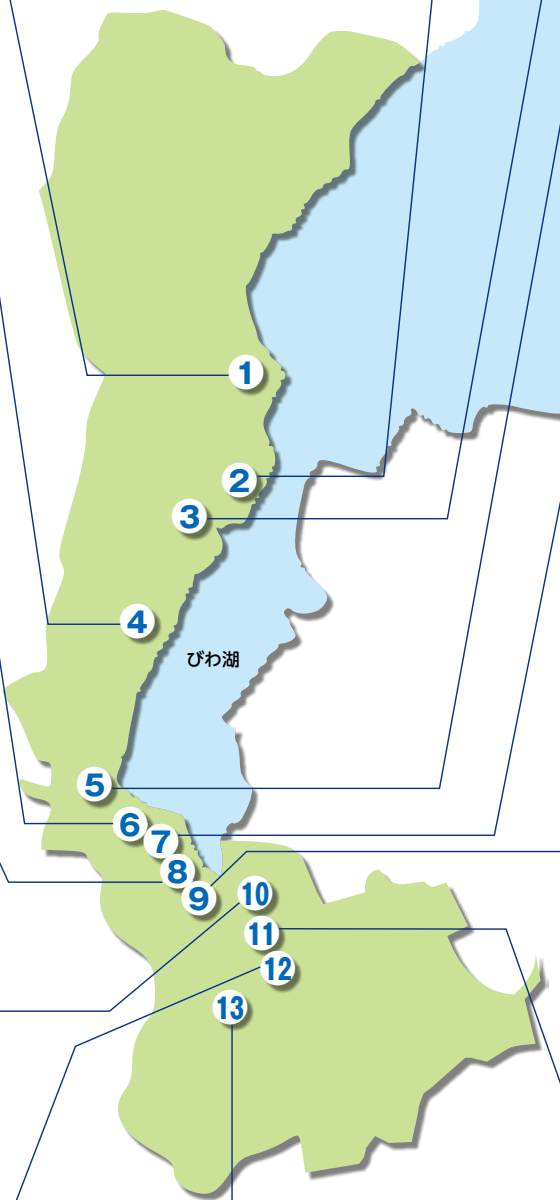
幹事

- 議会運営委員会委員
- 教育厚生常任委員会委員
- 地球温暖化対策特別委員会委員

4 〒520-0113
大津市坂本三丁目
11番37号



大津市 M A P



八田 憲児

幹事

- 総務常任委員会委員
- 地球温暖化対策特別委員会委員

5 〒520-0027
大津市錦織三丁目
15番31号



伴 孝昭

- 施設常任委員会副委員長
- 防災対策特別委員会委員

6 〒520-0043
大津市中央四丁目
11番9号



竹内 基二

- 監査委員
- 生活産業常任委員会委員
- 地球温暖化対策特別委員会委員

8 〒520-0836
大津市杉浦町19番16号



竹内 照夫

幹事長

- 議会運営委員会委員長
- 総務常任委員会委員
- 地球温暖化対策特別委員会委員

7 〒520-0802
大津市馬場一丁目
8番19号



鷺見 達夫

- 生活産業常任委員会委員長
- 観光振興対策特別委員会委員

9 〒520-0843
大津市北大路一丁目
11番32号



近藤 眞弘

- 教育厚生常任委員会委員
- 観光振興対策特別委員会副委員長

10 〒520-2144
大津市大萱二丁目
23番14号



桐田 真人

- 教育厚生常任委員会委員
- 観光振興対策特別委員会委員

11 〒520-2141
大津市大江五丁目
35番8-103号



横田 好雄

- 総務常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員

12 〒520-2273
大津市羽栗三丁目
13番5号



青山 三四郎

副政調会長

- 総務常任委員会委員長
- 観光振興対策特別委員会委員

13 〒520-0865
大津市南郷一丁目
4番9号



皆様のご意見を
ぜひ私たちに
お聞かせください。